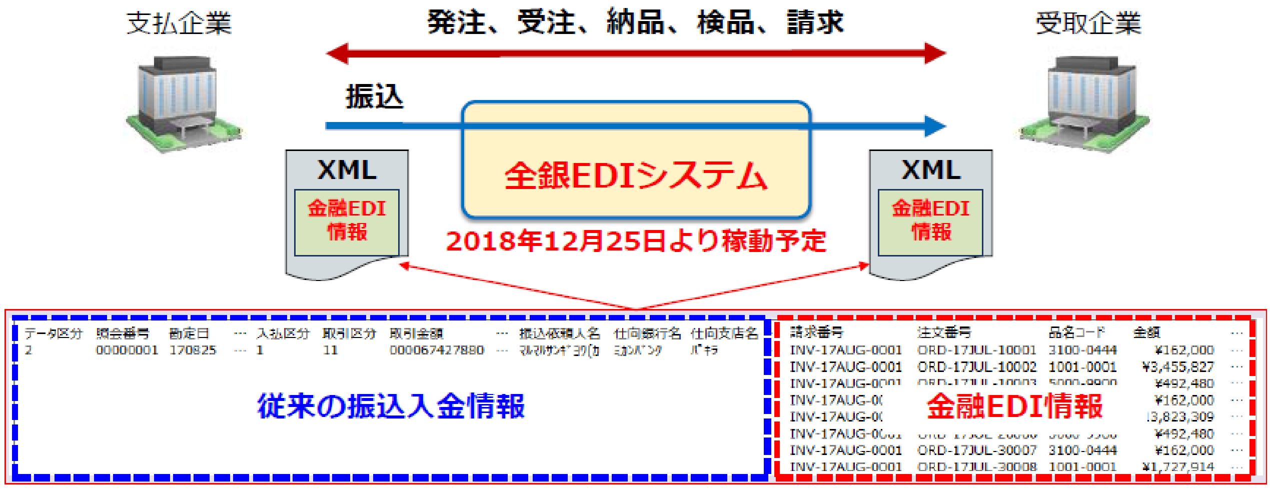
<ナント>Webービジネスバンキング
「XML 利用サービス」による金融 EDI の活用について
～金融 EDI を経理事務の効率化にお役立てください～

1．金融 EDI とは

　金融 EDI は、受発注や請求などの商取引に関する情報を振込データに添付し、交換・共有する仕組みです。

　全国銀行協会（以下、全銀協）および全国銀行資金決済ネットワーク（以下、全銀ネット）では、総合振込の際、振込に関するさまざまな情報（金融 EDI 情報：支払通知番号や請求書番号など）を電子的に交換可能とするため、平成３０年１２月２５日（火）から「全銀 EDI システム（以下、ZEDI）」を稼働させせます。

【金融 EDI 活用イメージ】



> ➢ 全銀EDIシステムの構築により、膨大な金融EDI情報を搭載した「XML電文」の受渡しが可能に。
> 　※　XMLとは、eXtensible Markup Languageの略称。膨大な情報を搭載する技術。

※ZEDI の詳しい情報は、全銀協のホームページをご参照ください。
https://www.zenginkyo.or.jp/abstract/efforts/smooth/xml/

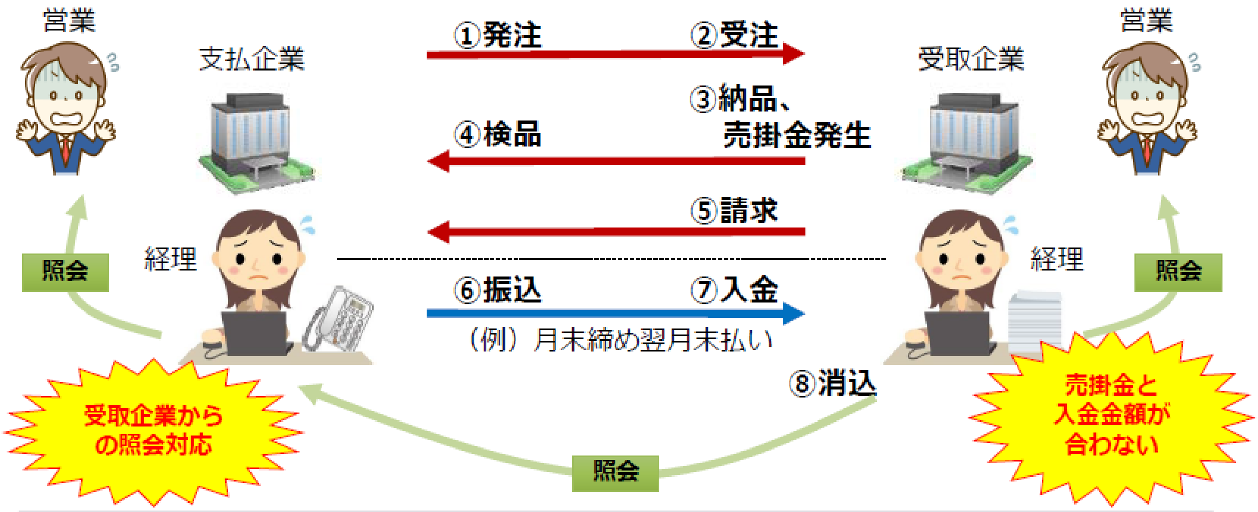
2．金融 EDI の活用効果

　ZEDI は、企業間の振込における確認・連絡の省力化、売掛金の消込などの自動化による経理業務の効率化、生産性の向上を目指して構築されています。

　売掛金の消込の現状として、支払企業と受取企業の間で受発注や請求情報などの複数の商取引が行われていますが、支払企業の多くは複数の商取引の代金を合算して支払っています。

　そのため、受取企業で認識している売掛金と実際の入金金額が合わないケースがあり、その場合は営業担当者や支払企業に照会するなどにより原因を究明する必要があります。支払企業と受取企業の双方で負担となっています。

【売掛金等の消込の現状】



- 企業の多くが複数の商取引の代金を合算して支払い（振込）。
- 受取企業側で認識している回収金額（売掛金）と、実際の入金金額が合わないケースがある。その場合、営業担当や支払企業に照会するなどにより原因を究明する必要がある。

ZEDI が稼働することで、振込の受取企業では、金融 EDI 情報に添付された支払通知番号や請求書番号などの入金消込に必要な情報を受け取ることにより、売掛金の消込が効率化されます。

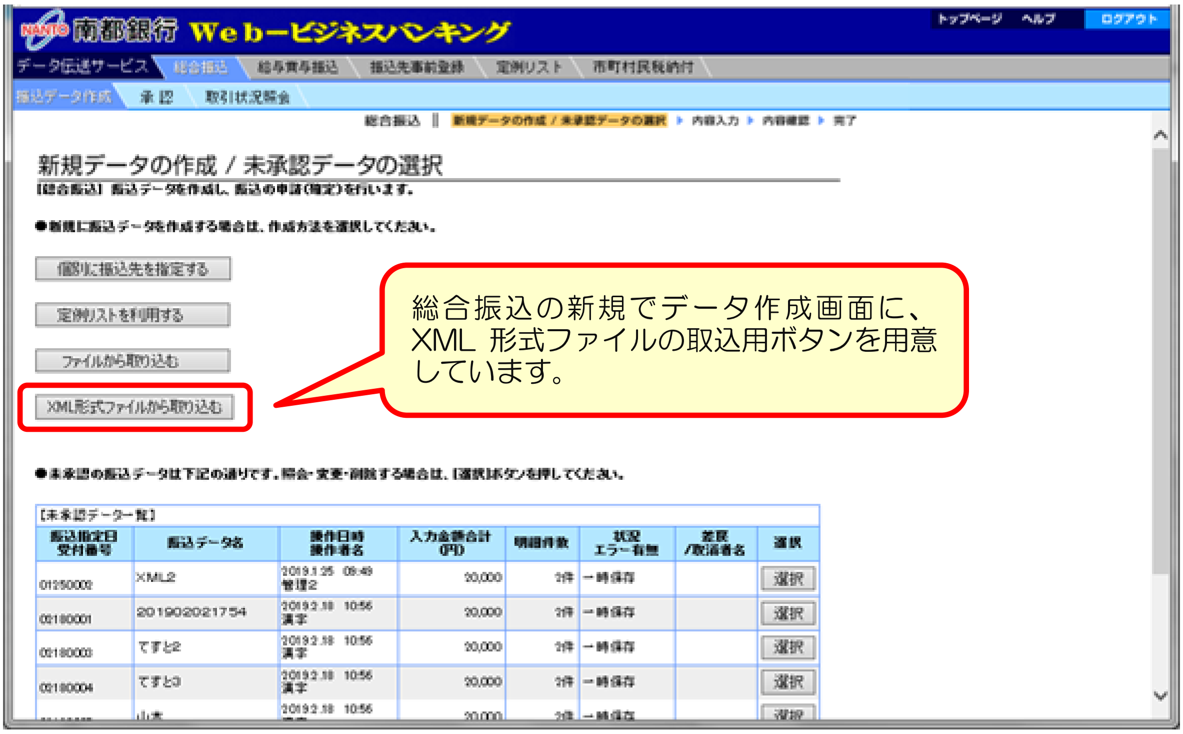
また、振込をする支払企業では、受取企業からの問い合わせへの対応負担が軽減されます。

【金融 EDI の活用効果】

- 振込に添付された情報（金融EDI情報）を活用することで、売掛金の消込が効率化。
- 経理業務の負担軽減のほか、営業担当や支払企業への照会も不要になる。

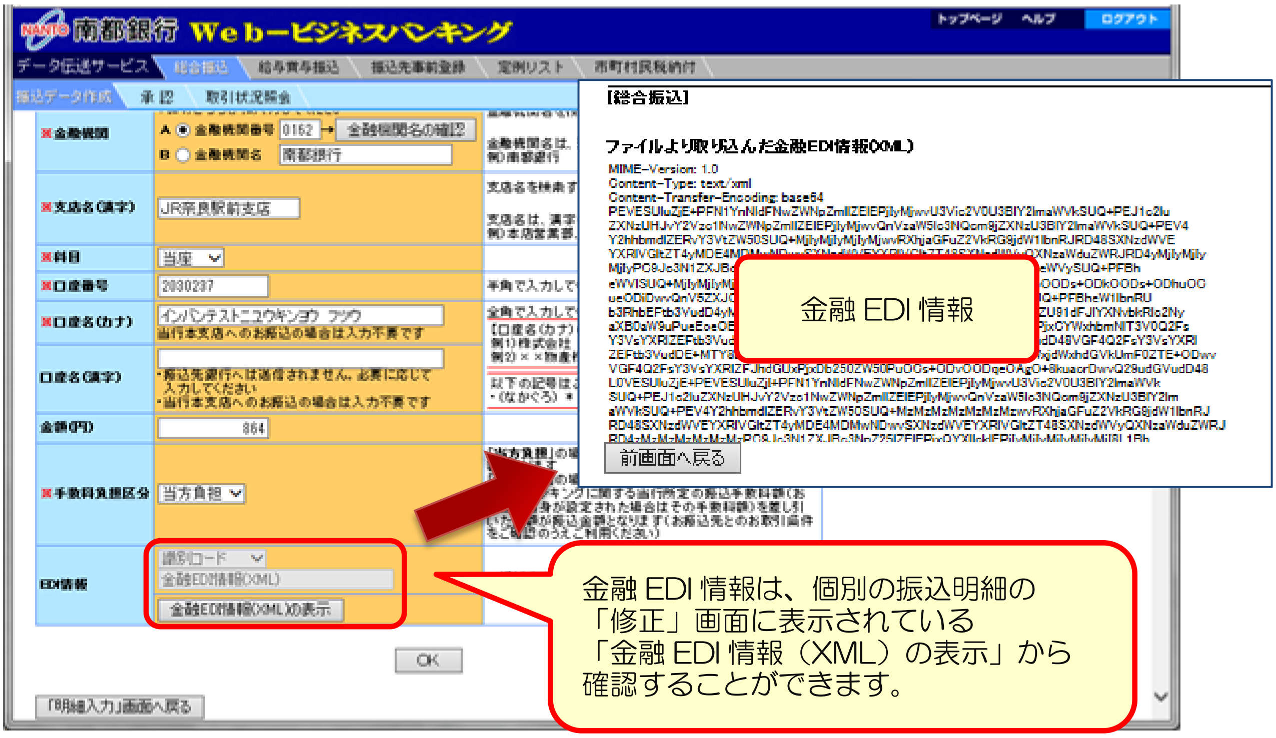
３．＜ナント＞Webービジネスバンキングの操作方法

（１）総合振込（XML 形式ファイルの取込）

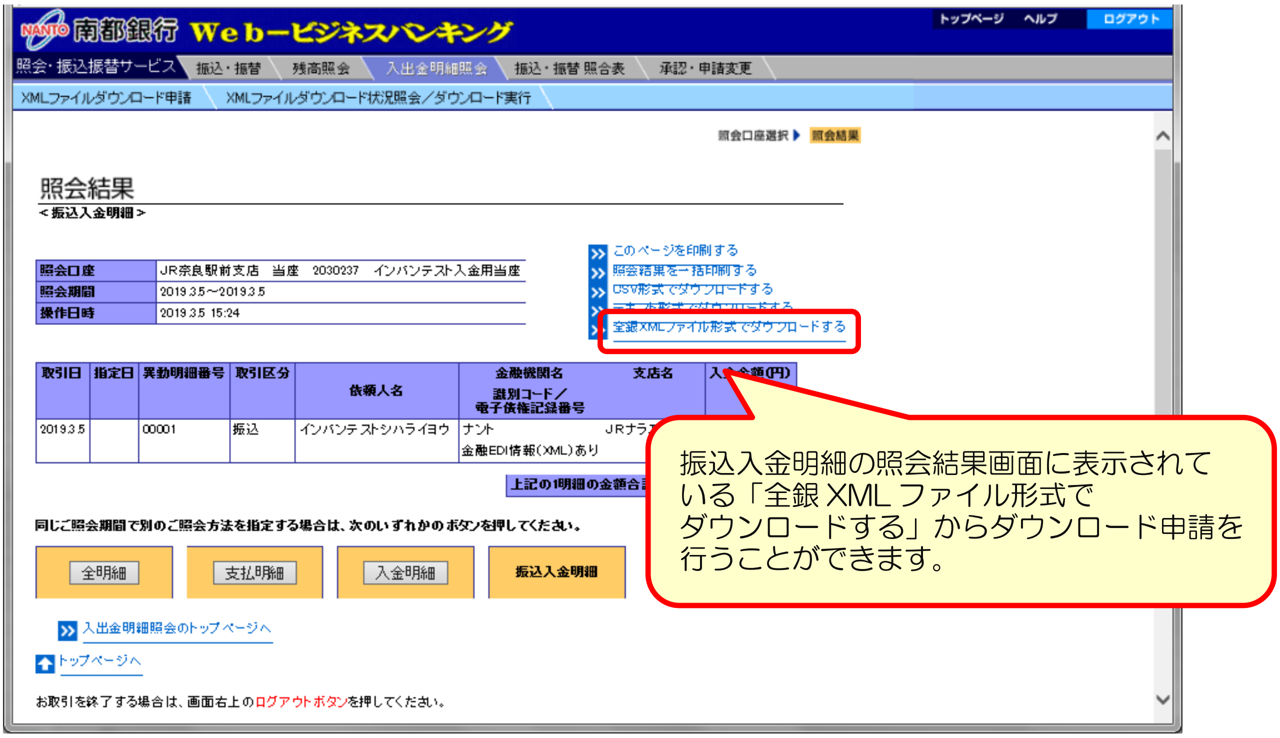


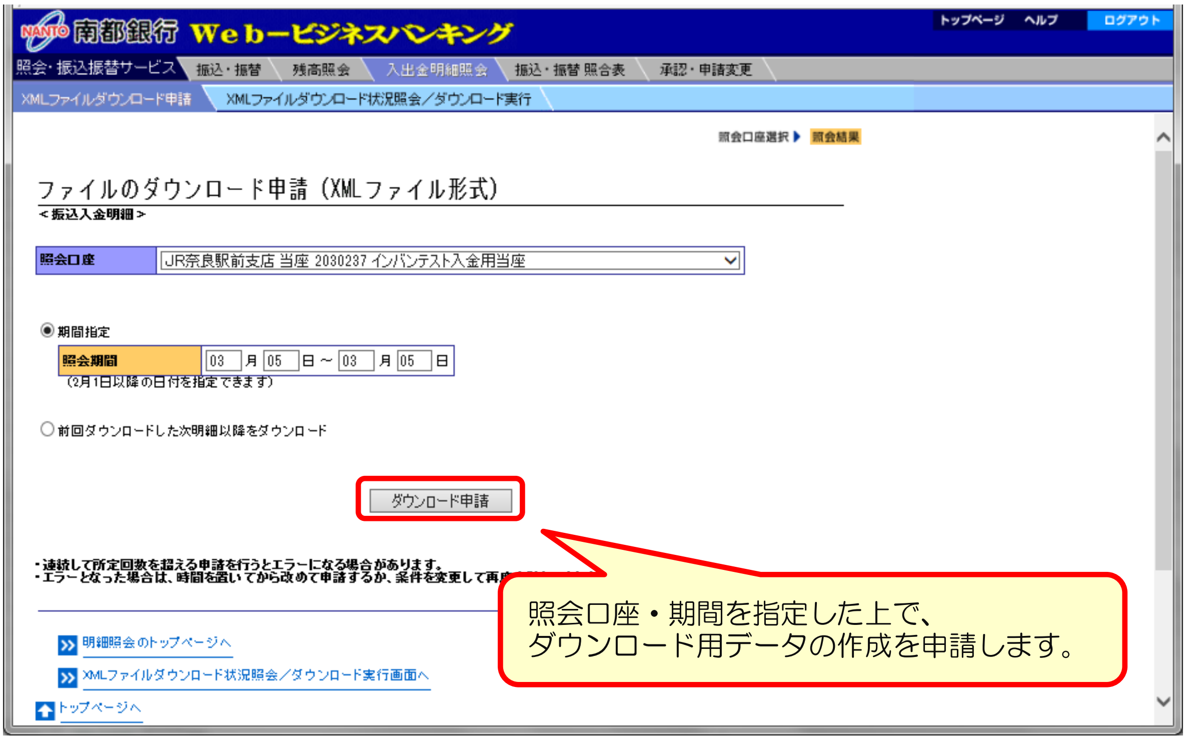
※XML 形式の総合振込データを作成する際には、全銀ネットが提供する作成ソフトウェア「S―ZEDI」をご利用ください。１２月２５日（火）から全銀ネットの専用サイトよりダウンロードが可能になります。

（２）総合振込（金融 EDI 情報の確認）



（３）入出金明細照会（XML 形式ファイルのダウンロード）





※XML ファイル形式でダウンロードしたデータの内容確認や会計システムへの連携を行うには、専用のソフトウェアが必要になり、お客さまでご準備いただく必要があります。

専用ソフトは、全銀ネットのホームページで紹介されていますので、選定の参考にしてください。

https://www.zengin-net.jp/zedi/